

# 減災のための目標(案)について

## 減災のための目標(案)

### ■5年間で達成すべき目標(案)

名取川・阿武隈川で発生しうる大規模水害から仙台都市圏・仙南圏の機能継続ならびに早期復旧に向けて、「逃がす・防ぐ・取り戻す」ことにより、氾濫被害の最小化を目指す

- 逃がすとは……流域住民が主体的に水害リスクを把握し、避難につながる、住民目線のソフト対策が必要です。
- 防ぐとは……地域の水防力向上を図り、氾濫被害の防止や軽減、堤防決壊を少しでも遅らせ避難のための時間を稼ぐことが必要です。
- 取り戻す……大規模な浸水が長期間に及んだ場合に、1日でも早く日常生活を取り戻すための対応が必要です。

# 減災のための目標(案)

## ■ 目標達成に向けた3本柱の取組

名取川、阿武隈川下流において再度災害防止等を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、以下の取組を実施。

### 1. 住民の主体的で安全な避難行動を促す日頃からのリスクコミュニケーション

トップセミナーによる  
防災情報の共有



### 2. 発災時に人命と財産を守る水防活動の強化

水防技術協議会  
水防工法実施状況



### 3. 一刻も早く日常生活を取り戻すための排水活動の強化

排水ポンプ車による  
排水活動 (H27.9洪水)



# 避難行動を促すための取組事例①

避難

## ◆「川の防災情報」サイトの活用・普及促進

住民自らが避難に必要な情報をいち早く入手し、水害リスクを察知して主体的に避難して頂けるよう、機能追加・サイト構成の見直しを実施

大雨時の川のはん濫の危険性を知らせる

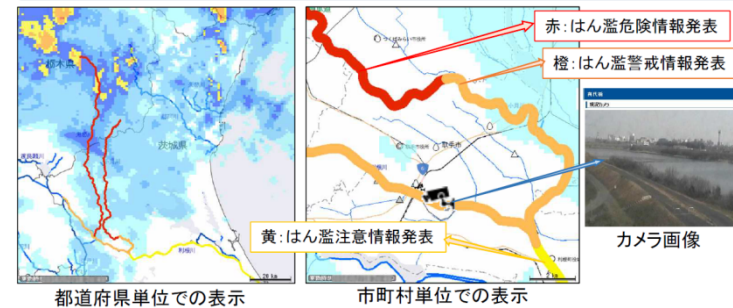
### 国土交通省 川の防災情報

身近な「雨の状況」、「川の水位と危険性」、「川の予警報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。

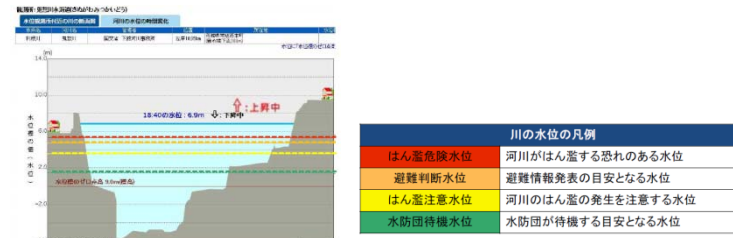


住民の方々が自らはん濫の危険性を知り、的確な避難行動などに役立つように、  
利用者目線に立った新しい『川の防災情報』がはじまります！

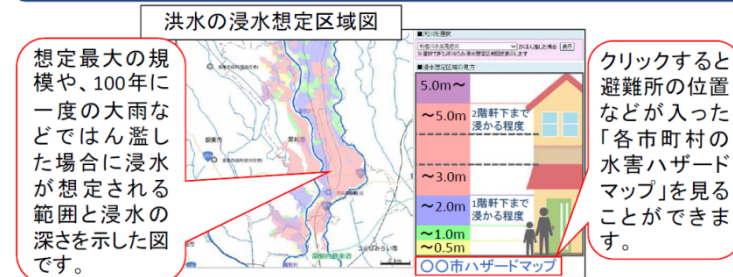
川の水位や雨の現在の状況がわかります。



川の水位で現在のはん濫の危険性がわかります。



洪水の浸水想定区域図で、仮にはん濫したらどこがどのくらい浸水する危険性があるかがわかります。



# 避難行動を促すための取組事例②

避難

## ◆防災・河川教育の取組強化

「出前講座」等により、平時から小学校等を対象とした防災教育の取組強化を促進



出前講座（仙台市郡山小学校 H26.6.25）



出前講座（岩沼市藤浪町内会H27.6.14）

## ◆河川管理の見える化（河川水位等の表示）

過去の洪水やはん濫危険水位の表示



過去の洪水位の表示（阿武隈川37.0km）



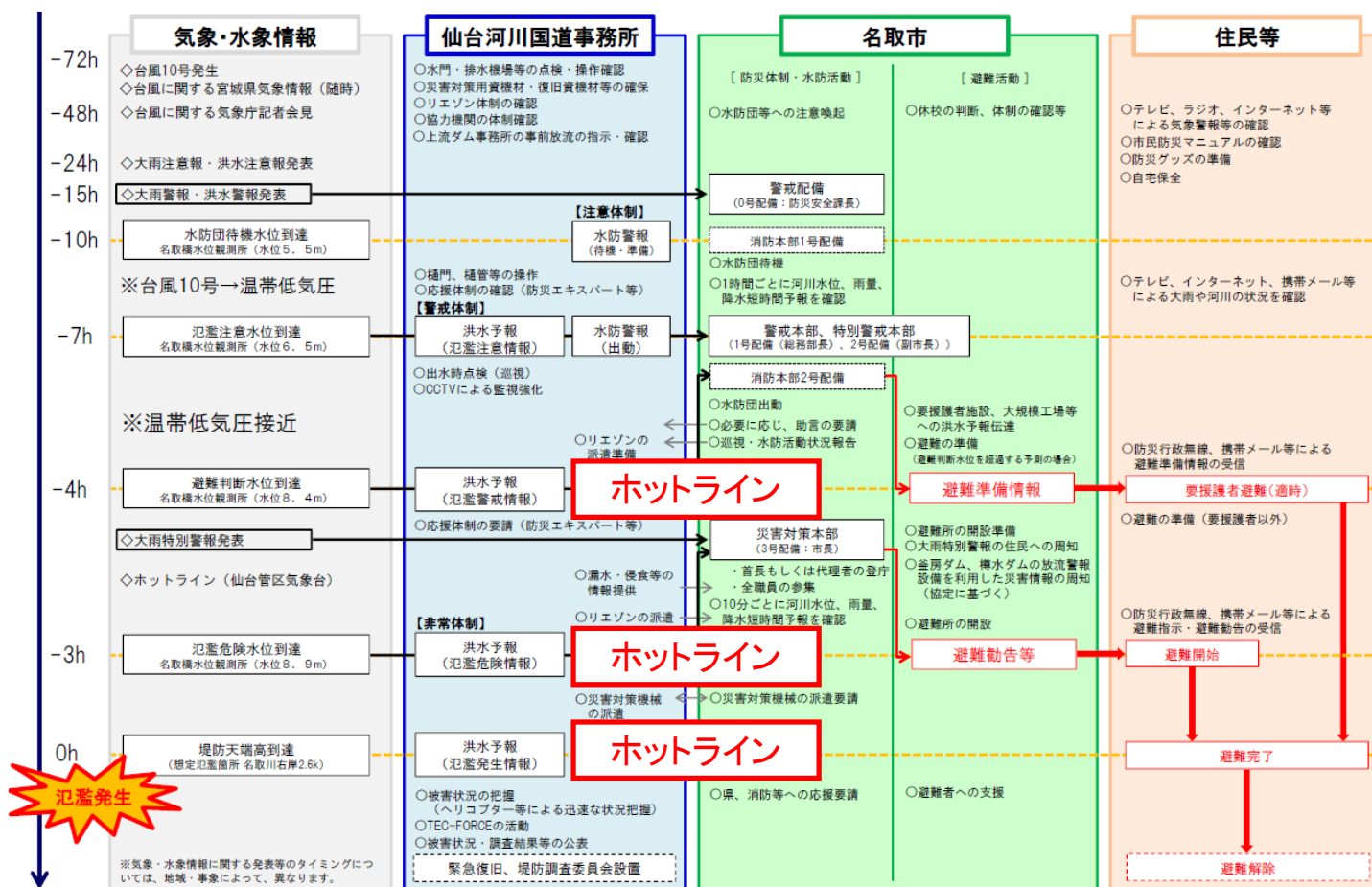
はん濫危険水位等の表示（阿武隈川 丸森水位観測所）

# 避難行動を促すための取組事例③

避難

## ◆ホットライン ～国交省と市町村長との電話連絡による防災情報の共有

洪水時に「はん濫危険水位」、「避難判断水位」に達すると予測された時点または到達した時点等において、仙台河川国道事務所と市町村長との電話連絡による防災情報を共有を実施



# 避難行動を促すための取組事例④

避難

## ◆タイムラインの確認、事後点検

洪水時における洪水予報情報の伝達や避難勧告発令等に着目した「タイムライン」に対し、洪水期前の確認ならびに平成27年9月洪水を踏まえた事後点検を実施

### ◆確認、事後点検の流れ

平成27年6月  
タイムラインの確認



平成27年9月11日洪水



平成27年10月19日～11月20日  
事後点検の実施  
(アンケートによる)

※出水後は必ず検証

### ◆事後点検による主な意見

- 水防警報の情報伝達について  
県河川はあるが、水位観測がなされていないため情報は来ない
- 避難所の開設について  
多くの避難所では1時間ではできなく最大で3時間かかったところもある。
- ホットラインについて  
ホットラインは誰から誰へどういうタイミングで連絡がくるのかわからなかった
- 住民への避難に関する情報提供について  
アラートメールは適切に送ったが、ただ文字制限がある。また詳細をHPにアップしていたがアクセスが結構殺到した。  
周辺他市町のエリアメールと入り乱れ、一部の人は混乱したようだった
- タイムラインに規定しておくべき対応  
土砂災害、内水も組み込むとよい。  
国道が通行止めしていたようだが、そういう情報が入ってこなかった。
- タイムラインに記載した方がよい関係機関  
宮城県も入れてもらった方がいい。

# 避難行動を促すための取組事例⑤

避難

## ◆トップセミナー、共同点検の実施

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨を踏まえ、直轄河川が流れる市町の首長に対し、「洪水時の避難行動等防災情報の共有」、「洪水に対し危険度の高い河川堤防の共同点検」を実施。

出水期前に毎年実施する。

### ◆実施概要

実施日：平成27年11月12日～30日

実施対象：仙台市、名取市、角田市、岩沼市  
柴田町、丸森町、亘理町、山元町

(名取市) 防災情報共有



(角田市) 防災情報共有



(柴田町) テレビ放送



(丸森町) 共同点検



### ◆主な意見

- 国と現地で情報交換をすることによって、避難勧告・避難準備情報が的確に出せるような体制作りにより、大変役立った。
- 9.11出水では避難勧告を発令した時間が夜中であり、判断も難しかった。
- 9.11出水時に冠水した箇所について、排水ポンプ車を派遣して頂き感謝する。

### ◆今後の取り組み

- はん濫シミュレーションの再周知
- 最大クラス洪水の浸水想定区域図の公表  
(家屋倒壊危険区域の公表)
- 避難のためのタイムラインの改善 など



# 避難行動を促すための取組事例⑥

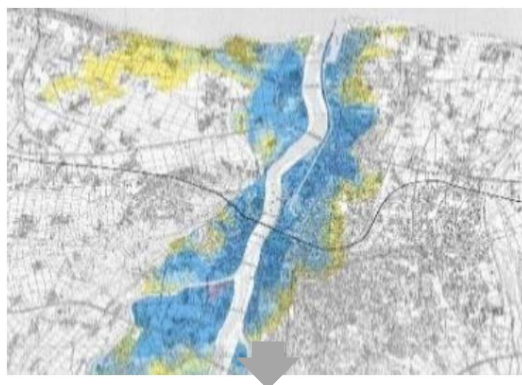
避難

## ◆最大クラス洪水の浸水想定区域図の公表

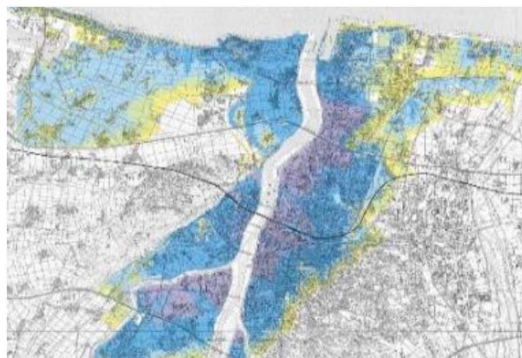
洪水時の避難体制等の充実・強化を図るため、現行の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表する予定（平成29年出水期前までに全国で公表）

### ◆浸水想定区域図の見直し

- 現行  
河川整備において基本となる降雨を前提（2日雨量で363mm）



- 見直し  
想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域



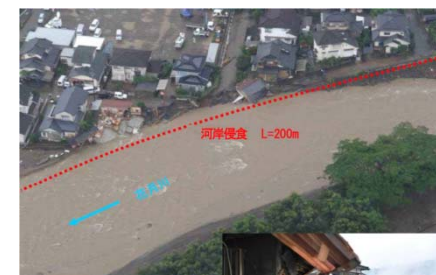
### ◆家屋倒壊等氾濫想定区域の公表

（家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域）

- はん濫流  
河川堤防の決壊又は洪水はん濫流により、家屋倒壊のおそれがある区域



- 河岸浸食  
洪水時の河岸侵食により、家屋倒壊のおそれがある区域



河岸侵食による家屋の流失  
〔写真提供／西日本新聞社〕



# 避難行動を促すための取組事例⑦

避難

## ◆多様な主体が参画したタイムラインの策定

社会経済の壊滅的な被害を回避するため関係者一体型（河川管理者や自治体、警察・消防の他、鉄道事業者や電気通信事業者等の民間を含む多様な主体）が参画したタイムラインの策定を実施

### ◆秋田河川国道事務所 子吉川タイムライン 取組事例

#### ●参加機関 民間を含む12機関が参画

学識経験者、由利本荘市、秋田県、警察本部、消防署、JR東日本、由利高原鉄道株式会社、東北電力、NTT東日本、本荘第一病院、気象庁、国交省

#### ●検討会の開催

##### ○第1回検討会（H27.10.28 開催）

- ・子吉川の流域特性、タイムラインについて 他
- ・講演「最近の災害対応と豪雨災害」  
秋田大学大学院工学資源研究科 松富教授

##### ○担当者会議（H28.1.28 開催）

- ・タイムラインの成果イメージ
- ・今後の予定と第2回検討会について 他

##### ○第2回検討会（H28.2.29 開催）

- ・子吉川タイムライン（案）について
- ・広報・啓発活動について
- ・講演「気象情報をミカタにするために」  
気象予報士・防災士 鈴木 智恵



第1回検討会の様子



鈴木智恵気象予報士による講演

# 水防活動の強化に係る取組事例①

水防

## ◆重要水防箇所のコ合同巡視の実施

河川管理者と水防団との合同巡視により危険箇所の再確認を実施



合同巡視（岩沼出張所管内 H27.7.10実施）



合同巡視（角田出張所管内 H27.7.17実施）

## ◆住民参加型の水防訓練の実施

住民参加型の水防訓練により、水防意識の高揚、水防体制の強化



名取川・阿武隈川下流総合水防演習における住民参加型の訓練（H26）

# 排水活動の強化に係る取組事例①

排水

## ◆自治体と国との共同による排水活動

平成27年9月洪水時には、自治体と国交省の共同による排水活動を実施



H27.9.11洪水時丸森町字鳥屋地内の排水活動

## ◆災害対策車の機動的かつ広域的な運用

平成27年9月洪水時には、東北技術事務所（多賀城市）配備の排水ポンプ車を広域的に運用し、角田市角田住社地内の排水活動を実施

